

# 新斎場建設は

## 無臭・無煙・無公害が前提

**問** 新斎場の基本構想・方向性、施設規模、能力、供用開始年度は。

**佐藤町長** 新たな斎場は、故人をしのび人生最後の儀式にふさわしく、厳粛な中にも安らぎを感じることができるような施設を建設したい。

現在「山田町新斎場建設庁内検討委員会」において、待合室、告別室、炉前ホール、収骨室等、現在の建物の3倍程度の面積を検討している。

駐車場も十分なスペースを確保し、火葬炉は無臭・無煙・無公害を前提



新斎場の建設が望まれる

とし、炉数は現在と同じ2基が適当と考える。供

用開始は28年度末の計画である。

**問** 新築場所は大変難しい問題になると思うが、大体決まっているのか。

**佐藤町民課長** 条件として人目に付きにくいこと、民家から離れていること、交通の便が良いことがあり、現在検討中である。

# 災害公営住宅への支援は

## コミュニティ充実を図る

**問** 豊間根団地の現時点での入居希望状況は。

**佐藤町長** 希望者は44世帯である。

**問** 入居者は、年代・職業・家族構成・出身地区等多様な形態があるものと思われる。入居者のコミュニティ・相互支援・各種相談等の充実を図るべきではないか。

**佐藤町長** 団地内に集会所・生活相談員執務室を併設し、コミュニティ、各種相談等の充実を図っていく。

**問** 入居の料金体系と、社会的弱者（障害者）・高齢者・低所得者に対する配慮は。

**阿部建設課長** 集合タイプの場合は、一人世帯1DK約5千円、二人世帯2DK1万4900円など、それぞれの条件で異なる。住宅再建ガイドブックに家賃の試算例を示している。

# いじめ対策は

## アンテナを高くして

**問** 教育委員会・学校等関係機関・団体の努力にもかかわらず「いじめ」はなかなか減少しない。本町での件数と状況は。

**佐々木教育長** 1月末時点の調査では、小学校5件・中学校10件の報告があり、その主な状況は悪口や無視などである。そのいずれもが改善されて

いる。  
指導に当たっては、担任や生徒指導主事を中心になって行い、必要に応じて校長・副校長が対応したケースもある。内容によっては今後も経過観察が必要な案件もあり、アンテナを高くした指導をお願いしている。

### その他の質問

- ◆ 農林業について
- ◆ 町民生活の安全と安心の確保について
- ◆ 行財政について
- ◆ 魅力ある社会教育の推進について
- ◆ 文化の振興について